三段峡 長淵から黒淵

三段峡正面口は三段峡遊歩道の南端の開始地点です。三段峡正面口から黒淵までの 3km のトレッキングは最も人気があります。ハイカーは舗装路や踏みならされた未舗装路で峡谷の自然美をおよそ 50 分で体験でき、そのおかげで初心者や日帰り旅行者でも楽しめるという点はその理由です。遊歩道への入り口は三段峡ホテルと、ハイキング用の食料と情報を提供している店舗の両方に隣接しています。遊歩道での散策を開始したのち、ハイカーは黒淵にかかる真っ赤な橋を渡ることになります。長さ約 100m で、これは三段峡で最長の淵となっています。地元のカヤック・スタンドアップパドルボード教室はここに本拠地を構えています。夏には水が透明で冷たいため、黒淵では遊泳が人気です。

長淵からおよそ 5 分のところに姉妹滝があります。この名前は「姉妹の滝」という意味で、穏やかな淵に向かって岩を並行に落ちていく 3 つの流れのことを指しています。姉妹滝は竜ノ口の近くにあり、竜ノ口では穏やかな川の流れが荒々しくて激しい急流に変わります。

姉妹滝からおよそ 20 分のところで、ハイカーは緑に囲まれた真っ赤な空き地を見つけるでしょう。赤滝と呼ばれるこの新鮮な湧き水の小さな滝は、この地に繁茂する赤レンガ色の藻類で覆われた岩に囲まれています。この飲用水は冷たくて清潔で、甘い風味と柔らかな口当たりをしています。赤滝を通り過ぎたのち、遊歩道は浸食された岩だらけの池、女夫淵に向かって伸びています。女夫淵沿いの道は高く作られており、道と大きな落差のある水面との間には遮るものはありません。この淵の次にあるのが石樋で、やはり岩だらけの浅瀬です。

遊歩道をさらに進むと黒淵に到達します。ここでハイカーは水辺まで歩いて行って休憩することができます。この大きな淵の水は穏やかで、原生林に覆われた巨大な崖に囲まれています。三段峡の真ん中にあるレストランの黒淵荘へは小さな渡舟で行くことができます (乗船時間はおよそ 10 分です)。